

旧大野市蕨生小学校物件概要

1 立地の概要

所在地

郵便番号：912-0823

所在地：福井県大野市蕨生第126号32番地

位置概要

中部縦貫自動車道 荒島ICから約0.6km、車で約2分

2 土地、敷地等

校舎敷地 約6,000㎡(下表記載の土地のうち)

所在			登記情報	
大字	小字	本番	登記地目	登記面積(㎡)
蕨生	126字	28番2	学校用地	768.00
	126字	28番4	学校用地	777.00
	126字	29番1	学校用地	7,105.00

※敷地は屋外運動場(グラウンド)を含みません。

※上表の土地面積は、公募上の面積です。

3 建物等

施設名称	建築年	構造	耐震改修	延床面積(㎡)
校舎	平成2年	鉄筋コンクリート造2階建 1階1,118㎡、2階851㎡	新耐震基準	1,969.00
体育館	平成2年	鉄筋コンクリート造平屋建	新耐震基準	836.00
校舎・体育館合計				2,805.00
倉庫	不明	木造平屋建て	新耐震基準	20.00

4 土地利用制限等

- (1) 用途地域 指定なし(土地計画区域外)
- (2) 建ぺい率 なし
- (3) 容積率 なし
- (4) 高さ制限 なし
- (5) その他 洪水・土砂災害ハザードマップにおいて水害・土砂災害の恐れがない
※1000年に一度程度の「想定最大規模」降雨の場合でも水害の恐れがない

5 維持管理

(1) 光熱水費

ア 電気料

キュービクル式高圧受変電設備を設置し、電力会社と高圧受電計画を締結し、電気の供給を受けている。

※電気料金の実績

令和4年度 契約電力 20kW 使用電力量 22,727kWh/年、電気料金 792,168 円/年

令和5年度 契約電力 2kW 使用電力量 19,273kWh/年、電気料金 892.786 円/年

イ 水道

簡易水道を利用しており、現在の利用実績は以下のとおり。ただし、営業用に水を使用する事業を実施する場合は簡易水道を利用できない。敷地内に井戸を掘る必要がある。

※簡易水道使用量の実績

令和5年度 水道使用量 759 m³/年、水道料金 84,812 円/年

ウ 下水道

農業集落排水を利用している。営業用に水を使用する場合は、流量調整設備の設置などが必要になる

※農業集落排水使用料の実績

令和5年度 36,960 円/年

(2) 設備等

令和6年9月時点の建物設備等の維持管理状況は以下のとおりです。既存設備等を使用する場合は、必要な調査・点検などを行ってから使用してください。また、それらの調査・点検及び必要な改修等に伴う費用は、すべて利活用事業者の負担とします。

区分	設置状況・規格等	備考
自家用電気工作物	キュービクル式変電設備 設備容量 64kW	
給排水設備	受水槽 8 m ³	
空調設備	壁掛け型エアコン 3基	職員室、校長室、保健室
消防設備	消火器、屋内消火栓設備、自動 火災報知設備、誘導灯及び誘導 標式、防排煙制御設備	
給食設備	ガスコンロ、ガス回転釜、水槽 (シンク)	・残置の取り扱いについては未 定

6 特記事項

ア 地下埋設物

地下埋設物調査は実施しておりません。当物件の引渡し後、利活用に必要な調査及び調査により埋設物が確認された場合の処置については、全て利活用事業者の責任において実施してください。

本物件は、文化財保護法（昭和25年法律第214号）に基づく「周知の埋蔵文化財包蔵地」にあたりません。

ウ 土壌汚染

土壌調査は実施しておりません。提案事業を実施するに当たり必要な調査及び処置については、全て利活用事業者の責任において実施してください。

エ アスベスト

当物件の建物（校舎）は、平成17年度及び平成20年度文部科学省指針に基づき、平成17年度及び平成22年度に検査を実施した結果、飛散する恐れのあるアスベスト含有内装建材は確認されておりません。非飛散性アスベスト含有建材の調査は実施していません。建物の改修、解体等を行う場合は、関係法令に基づき、利活用事業者の責任において調査を実施し、必要に応じて、適切な処分を行ってください。

オ PCB（ポリ塩化ビフェニル）

当物件内のPCB含有機器等は、該当機器を廃棄処分していますが、当物件の引渡し後に発見された場合においては、関係法令に基づき、利活用事業者の責任において適切に処分を行ってください。

カ 設置物

記念碑については原則、現在地において保全してください。

キ その他

当物件の引渡し後、当物件に面積の相違その他契約に適合しないことが判明しても、本市は一切の責任を負いません。